

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No. 368  
令和4(2022)年2月1日発行  
尼崎市立中央図書館  
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地  
TEL (06)6481-5244  
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス  
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。  
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

## 尼崎と作家たち 第24回

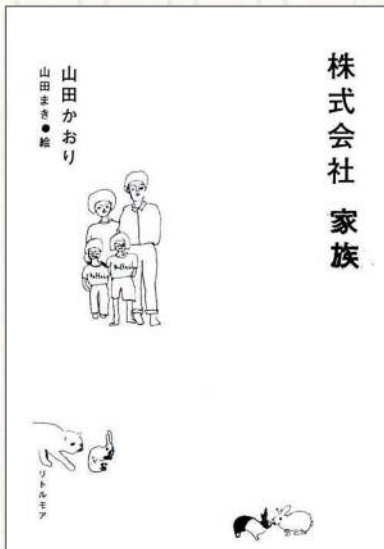
山田 かおり (やまだ・かおり)

ファッションデザイナー

1974年、尼崎市生まれ。

京都芸術短期大学(現・京都芸術大学)ファッション科卒業。1998年にファッションブランド「QFD」を立ち上げ、CM・映画・舞台等に衣装の提供を行う。

「QFD」ホームページのブログで日常や家族のことを綴り、2010年にエッセイ集『株式会社家族』として出版。2012年には、続編にあたる『株式会社家族 私も父さんに認めてもらいたい篇』が刊行される。いずれも挿絵は妹でイラストレーターの山田まきが担当。



### 作品介绍

「株式会社 家族」 リトル・モア 2010年発行

ファッションデザイナーの著者を「会社員でない=ニート」と思い込んでいる父、ぼろぼろの状態の犬や猫を拾ってくる母、結婚が決まったのに著者(姉)デザインのウェディングドレスは頼もうとしない妹——。

尼崎市出身のデザイナーが自身の家族について綴る、笑いど元気にあふれたエッセイ。嘘みみたいな日常に思わずクスッと笑えます。

## 結果発表

# ビブリオバトル尼崎 天下統一への戦い 令和4年 初戦開催!!

## テーマ「全国の人に紹介したい本」

『N』 道尾 秀介／著

『エミリの小さな包丁』 森沢 明夫／著

『烏は主を選ばない』 阿部 智里／著

『北里柴三郎 学習漫画世界の伝記』 おおつき べるの／画

『心をつかむ話し方 うまい先生へたな先生』 関根 正明／著

優勝者チャンプ本は『N』に  
決定しました。

全国大会予選会での活躍を  
お祈りします!

ビブリオバトルとは本の紹介コミュニケーションゲーム。各発表者(バトラー)が5分間の持ち時間内に自分のお薦めする本について熱く語り、最後に観覧者が「どの本が一番読みたくなったか」を基準にチャンプ本を決めます。1月22日(土)、中央図書館で「天下統一への戦い」を開催し、今回の優勝者は全国大会の予選会への出場権を獲得されました。

Youtubeで2021年10月に実施した「ビブリオバトル秋の陣」を公開中!  
今回のイベントの様様も近日公開予定です。

◆公開のアドレスはこちら→ <https://www.youtube.com/watch?v=ueUvIpu040w>



## 第166回 芥川賞・直木賞の受賞作が決定しました!

### 芥川賞

すなかわ ぶんじ  
砂川 文次『ブラックボックス』

(「群像 2021年8月号」掲載)

### 直木賞

いまむら しょうご  
今村 翔吾『塞王の楯(さいおうのたて)』

よねざわ ほのぶ  
米澤 穂信『黒牢城(こくろうじょう)』

## 中央図書館100周年記念事業

## みんなのおすすめ本 数珠つなぎ

## 第21回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げる  
リレー企画です。高須 光聖さん(放送作家)から推薦された次の方は…



よねだ てつじ (公益社団法人  
米田 哲二さん 関西二期会 理事長)

### 『カラマーゾフの兄弟』

ドストエフスキー／著 原 卓也／訳 (新潮社 1978年刊)



お勧めしたい本は高校卒業後の浪人時代に読んだロシアの文豪ドストエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」です。「カラマーゾフの兄弟」は一見難しそうですが、夜を徹しても読み続けてしまうほど引き込まれる作品です。人間の根源的な深い問題、愛憎、嫉妬、罪に対する赦し、神についての問題提起があり、神は存在するか否か、存在するならばなぜ悪がはびこるのか、なぜ争いが無くならないのか、等々。ともかく素晴らしい言葉、思想に出会える小説です。世界を代表する大作品だと思います。

次回は、タレントのじゅんいちダビッドソンさんです。お楽しみに!

# レファレンス室から

～新刊紹介～

## 『文豪墓碑大事典』

(東京堂出版)2020年8月発行



明治17年から平成31年に没した、文学者・歌人・詩人・哲学者・研究者・評論家など約1800人の文筆家の経歴、墓碑の場所、写真などを年代順に収録。没時の詳細な様子などは、その典拠も明記されており、信頼性の高い読み応えある文学事典となっています。

この資料は3階レファレンス室で  
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

聖徳太子の干支を知りたい。



『日本人物レファレンス事典 皇族・貴族編』(日外アソシエーツ)にて聖徳太子の項を確認すると各種事典に掲載されている聖徳太子の生年は「敏達天皇3(574)年」か、「?年」となっています。『日本暦日原典』(雄山閣出版)にて、敏達天皇3(574)年の干支は甲午(きのえうま)であることが確認できました。『世界大百科事典13』(平凡社)にも、聖徳太子の生年は《上宮聖徳法王帝説》に甲午574年とあるが、確かではない、との記述がありました。



## レオナルド・ダ・ヴィンチ 素描集と解剖手稿

～生誕570年記念～

常設ミニ展示

今年の4月15日は、“万能の天才”と称されたレオナルド・ダ・ヴィンチの生誕570年にあたります。そこで今回の展示では、図書館が所蔵する貴重書の「素描画」や「解剖手稿」の紹介とともに、その仕事や生涯について知ることができる資料を集めました。

期間：1月28日(金)～3月30日(水) 場所：2階 エントランス

## こんな本 入りました

～一般室の本棚から～

### 『ドードーをめぐる堂々めぐり』

川端 裕人/著 (岩波書店)



『不思議の国のアリス』などにも登場する絶滅鳥ドードーが、江戸時代初期に来日していた!?その足跡を追って、たどり着いた先とは…。生命と歴史を旅する1冊です。

### 『われらが痛みの鏡 上・下』

ピエール・ルメートル/著 平岡 敦/訳 (早川書房)



『天国でまた会おう』『炎の色』に続く歴史ミステリ三部作、完結編。1940年頃のパリを舞台に、数奇な運命に翻弄される人々の姿を描いた傑作。



# 2月の図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

開館時間 **9:00～20:00**

※  印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

## 朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 2月1日(火) 午後2時～3時

(毎月第1火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 『ぬくい山のきつね』 最上 一平/作

※次回は3月1日(火)です。



## ◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

## ●コアラくらぶ

11:00～11:20 0～3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より  
「本と友だち」をご覧ください

# 感染拡大防止対策にご協力ください。

図書館では、感染拡大防止に努めながら図書サービスを実施しています。

ご利用に際しましては、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ◆ 発熱または風邪の症状がある方は、来館をご遠慮ください。
- ◆ 来館の際にはマスクを着用し、咳エチケットの徹底と手指の消毒をお願いします。
- ◆ ご用がお済みになり次第、ご帰宅をお願いします。
- ◆ 館内で食事はできません。
- ◆ 館内の滞在人数が一定数を超えた場合は、入場制限を行うことがあります。

## 担当者のつぶやき

バレンタインデーを前に、あちらこちらで美味しそうなチョコレートの誘惑につられています。百貨店のフェアで吟味しようか、近くのケーキ屋さんで去年買い逃したチョコレートを買おうか悩み中です。(H.S)



## 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		